

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府堺市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	堺市地域文化遺産活用活性化実施計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>推進計画(平成28年3月策定)で掲げた施策の体系に則ると同時に、これまで守り育まれてきた歴史的風致の維持及び向上に向け取り組む「堺市歴史的風致維持向上計画」(平成25年11月22日策定)をふまえて、堺市固有の歴史や文化資源を活用した以下の事業を実施する。特に伝統文化継承基盤整備事業では、継承者の養成に継続性が必要であるとともに本市の場合市域が広く対象になる伝統文化も数多いことから、事業の検証を行いながら継続した計画性の推進が必要である。</p> <p>本計画に基づく事業の実施により、市民への文化財保護意識の啓発、地域に対する愛着の醸成、伝統芸能・行事・技術の保存伝承による地域の活性化、伝統芸能・行事・技術を伝承する団体・市民への支援などの効果を通じて、伝統文化を将来にわたって確実に継承し発展させる。合わせて、これらの事業を通じて、伝統文化を支える人材を育成するとともに次世代を担う子どもたちが歴史・伝統・文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を涵養する。</p>			
1. 地域の文化遺産次世代継承			
(1) 普及啓発事業			
①堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業(平成24年度～33年度)			
②鯨祭りをはじめとする湊・出島観光地域活性化事業(平成23年度～平成24年度)			
2. 伝統文化継承基盤整備			
(1) 記録作成事業			
①鯨祭り記録作成事業(平成24年度)			
②神輿渡御祭記録作成・調査研究事業(平成25年度～平成28年度)			
③国選択・大阪府指定無形民俗文化財上神谷のこおどり記録作成・調査研究事業(平成26年度)			
④美多彌神社流鏝馬を中心とした和田谷地区伝統文化記録作成・調査研究事業(平成26年度～平成29年度)			
⑤大阪府指定無形民俗文化財堺の手織緞通記録作成・調査研究事業(平成26年度～平成29年度)			
⑥上神谷地域伝統文化記録作成事業(平成26年度～平成27年度)			
⑦多治速比売神社神賑行事記録作成事業(平成28年度)			
⑧開口神社八朔祭記録作成事業(平成28年度)			
⑨八田荘地域伝統文化記録作成事業(平成28年度)			
⑩美多彌神社流鏝馬記録作成事業(平成29年度)			
⑪津久野地域伝統文化記録作成事業(平成29年度～33年度)			
⑫深井地域文化遺産記録作成事業(平成30年度～33年度)			
⑬美木多地域伝統文化記録作成事業(平成30年度～33年度)			
⑭陶器地域陶荒田神社禮大祭文化遺産記録作成事業(平成31年度～33年度)			
⑮石津地域石津神社秋季例大祭記録作成事業(平成31年度～33年度)			
⑯高松・丈六地区秋の例大祭映像記録作成事業(平成31年度～33年度)			
(2) 後継者養成			
①国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり後継者養成事業(平成23年度～33年度)			
②船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業(平成23年度～33年度)			
③月洲神社神楽獅子舞保存伝承事業(平成23年度～平成24年度、平成27年度)			
④美多彌神社流鏝馬後継者養成事業(平成25年度～33年度)			
⑤大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通後継者養成事業(平成24年度～33年度)			
⑥上神谷地域伝統文化保存継承事業(平成26年度～平成27年度)			
⑦多治速比売神社神賑行事保存事業(平成28年度)			
⑧八田荘地域伝統文化保存継承事業(平成28年度)			
⑨開口神社八朔祭後継者養成事業(平成28年度～33年度)			
⑩湊地域歴史文化後継者養成事業(平成30年度～33年度)			
⑪百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化後継者養成事業(平成31年度～33年度)			
(3) 用具等整備事業			
①国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり用具等整備事業(平成23年度～33年度)			
②船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業(平成23年度～33年度)			
③月洲神社神楽獅子舞保存伝承事業(平成23年度～平成24年度、平成27年度)			
④美多彌神社流鏝馬用具等整備事業(平成25年度～33年度)			
⑤上神谷地域伝統文化保存継承事業(平成26年度～平成27年度)			
⑥多治速比売神社神賑行事保存事業(平成28年度)			
⑦八田荘地域伝統文化保存継承事業(平成28年度)			
⑧開口神社八朔祭用具等整備事業(平成28年度～33年度)			
⑨津久野地域伝統文化用具等整備事業(平成29年度～33年度)			
⑩深井地域文化遺産用具等整備事業(平成30年度～33年度)			
⑪美木多地域伝統文化用具等整備事業(平成30年度～33年度)			
⑫湊地域伝統文化用具等整備事業(平成30年度～33年度)			
⑬陶器地域伝統文化用具等整備事業(平成31年度～33年度)			
⑭石津地域石津神社秋季例大祭伝統文化用具等整備事業(平成31年度～33年度)			
⑮百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化用具等整備事業(平成31年度～33年度)			
⑯高松・丈六地区秋の例大祭用具等整備事業(平成31年度～33年度)			

※『自由都市堺文化芸術推進計画』はURL
 (http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/bunka_jorei/bunkageijyutusuishinkeikaku.html) ・
 『堺市歴史的風致維持向上計画』はURL
 (http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/bunkazai/bunkazai/rekimachi/rekimachi_nintei.html) を参照。

6 実施体制

堺市が、本実施計画に係る全体の企画、調整や各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は以下のとおり。
 ・文化観光局文化部文化財課：各補助事業における指導、調整等
 また、補助事業は堺市地域文化遺産活性化実行委員会及び実行委員会に組織された次の団体が実施する。
 ・堺市地域文化遺産活性化実行委員会（委員長：左近 考明）
 ・構成団体（堺こおどり保存会、船待神社神楽子供獅子保存会、美多彌神社流鏝馬保存会、堺式手織緞通技術保存協会、開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会、湊地域伝統文化保存伝承実行委員会、百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会、陶荒田神社文化財推進実行委員会、石津神社秋季例大祭保存伝承実行委員会、高松・丈六地区秋の例大祭保存継承実行委員会）

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要

(1) 補助金額

～平成30年度交付決定額：16,577 千円

平成31年度申請額：15,522 千円

(2) 実施事業の概要

別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

本事業を実施することにより、より正確に伝統文化を伝承することができ、市民の地域の文化遺産に対する関心や認知度・意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携、協力体制が構築されとともに、世代を超えた連携がすすむことが期待できる。さらに平成32年計画「市マスタープラン」で目標としている堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができるとされる割合90%に高め、観光ビジター数1400万人の増加に寄与することができる。

◆地域文化遺産活性化事業

1. 地域の文化遺産次世代継承

(1) 普及啓発事業

①堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業（実行委員会）

ワークショップ事業を実施することにより、今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇し、市民が地域の文化遺産を再発見し、自らの地域を活性化していこうという意識醸成につながる⇒事業参加者アンケート等で検証

2. 伝統文化継承基盤整備事業

(1) 記録作成事業

②陶器地域陶荒田神社禮大祭文化遺産記録作成事業

陶荒田神社禮大祭に使用する西中地区山車の修復、禮大祭における宮入と曳行の様子、祭礼準備風景及び地域の子供達にお囃子継承の為に太鼓教室などの記録を作成し、公開することで伝統文化の継承、地域活性化につながる。

③石津地域石津神社秋季例大祭記録作成事業

石津神社秋季例大祭に使用する上石津山車修復作業の公開事業を開催するとともに、修復作業、秋季例大祭における宮入と曳行の様子などの記録を作成し、公開することで、地域の貴重な文化財としての上石津山車の歴史的価値を見出し、石津神社秋季例大祭伝統文化の継承、地域活性化につながる。

④高松・丈六地区秋の例大祭映像記録作成事業（高松・丈六地区秋の例大祭保存継承実行委員会）

萩原神社秋の例大祭で使用する高松地車の保存修理の経過や伝統文化としての秋の例大祭における宮入の様子、囃子の練習風景などの記録を作成し、公開することで伝統文化の継承、地域活性化につながる。

(2) 後継者養成

⑤国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり後継者養成事業（堺こおどり保存会）

保存会会員を対象とした保存伝承講習会及び、指導者相互の技術向上をはかる養成研修（予算計上なし）をおこなうことで、踊りや歌の継承に関する伝承者の意識が高まる。

⑥船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業（船待神社神楽子供獅子保存会）

獅子踊りの演技並びにお囃子の笛や太鼓を生演奏でおこなうための講習を実施することで、演技や演奏に磨きがかかり、伝承者の意識向上につながる。まだ獅子踊りを卒業した中学生がお囃子を学ぶことで、伝承世代の断絶を防ぐことができる。

⑦美多彌神社流鏝馬後継者養成事業（美多彌神社流鏝馬保存会）

後継者育成のための流鏝馬の技術及び地域の歴史・伝統文化の講習や講習した成果を市民に披露、発表することにより、地域における保存伝承を活性化すると同時に、流鏝馬や泉北地域の歴史に対する市民の理解を深め、次世代の後継者を拡大することができる。

⑧大阪府指定無形民俗文化財 堺の手織緞通後継者養成事業（堺式手織緞通技術保存協会）

明治～昭和初期の大型織機を使って後継者育成をおこない、講習会を市民に公開することで、堺緞通に対する市民の意識を高め、伝承者の養成につながる。

⑨開口神社八朔祭伝統文化後継者養成事業（開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会）
若手の保存会会員を対象にした講習会（予算計上なし）を実施することにより、伝統文化の正しい継承を図ることができるとともに新規参加者の増加を図ることができる。

⑩湊地域歴史文化後継者養成事業（湊地域伝統文化保存伝承実行委員会）
会員小・中学生を対象にした湊地域の歴史、秋季例大祭行事等についての講習やふとん太鼓の囃子や唄を合わせながら実物棒を使った担ぎ方の特別練習と指導を行うことにより、伝統文化の正しい継承をはかり、秋季例大祭の価値を理解し伝統文化の継承の意識を高められる。

⑪百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化後継者養成事業（百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会）
百舌鳥八幡宮で行われる月見祭並びにふとん太鼓の歴史価値を次世代の後継者となる青年層に伝承するための講習会を実施し、祭礼の興味や関心を高め次世代の後継者を育成するとともに新規参加者を増やして後継者を育成する。

(3) 用具等整備

⑫国選択・大阪府指定無形民俗文化財 上神谷のこおどり用具等整備事業（堺こおどり保存会）
傷みが激しく不足している外踊り用の用具（チャンポン鐘、日の丸扇）を伝統的な仕様にもとづき新調することにより、より良い状態で伝統文化の伝承をすすめることができ、祭礼行事への住民の参加者増加にもつながる。

⑬船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業（船待神社神楽子供獅子保存会）
数が不足している用具（篠笛）を伝統的な仕様にもとづき新調することにより、伝承者の意識が高まり、芸能の質も向上する。それによって、祭礼行事へ参加する住民の数の増加につながる。

⑭美多彌神社流鏝馬用具等整備事業（美多彌神社流鏝馬保存会）
流鏝馬の後継者養成及び行事の催行のために欠かせない流鏝馬衣装の一つである流鏝馬衣装（立烏帽子）を、有識者の指導のもと、伝統的な仕様に則り新調をおこなうことにより、伝統文化に対する意識が高まり、祭礼行事へ参加する住民の数の増加につながる。

⑮開口神社八朔祭伝統文化保存伝承用具等整備事業（開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会）
長年の使用による経年劣化した用具（宮太鼓一尺二寸、担ぎ棒、トンボ（結び）、ふとん骨組み、ふとん生地）を有識者の指導のもと修理・新調することにより、ふとん太鼓の宮入をより安全・適正におこなうことができ、祭礼への理解を深め、後継者の育成に繋がる。また、この事業をきっかけに、開口神社の氏子区域である各地区の世代を超えた連携がすすみ、歴史を見つめなおす機会にもなる。

⑯湊地域伝統文化用具等整備事業（湊地域伝統文化保存伝承実行委員会）
これまで大切に継承してきたふとん太鼓が著しく損傷しているため、祭礼の催行のために欠かせない太鼓、トンボ、担ぎ棒等を有識者の指導のもと伝統的な仕様に則って修理、新調する。このことにより、ふとん太鼓について宮入をより安全にまた適切におこなうとともに伝統文化の継承の意識の高揚につながる。つながることができる。

⑰百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化用具等整備事業（百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会）
百舌鳥八幡宮月見祭におけるふとん太鼓の宮入に欠かせない用具である長胴太鼓、飾紋章、担ぎ棒等が著しく損傷しているため、有識者の指導のもと伝統的な仕様に則って修理、新調することにより月見祭におけるふとん太鼓の宮入をより安全にまた適切におこなうとともに伝統文化の継承の意識の高揚につながる。また、この事業を実施することにより後継者の育成と祭礼参加者の増大を図ることができる。

⑱陶器地域陶荒田神社禮祭文化遺産用具整備事業（陶荒田神社文化財推進実行委員会）
陶荒田神社禮祭に欠かせない用具であるが、経年劣化により損傷している西中山車を、有識者の指導のもと伝統的な仕様に則り修理することによって、禮大祭におけるだんじり曳行をより安全におこない、伝統文化の保存と継承をおこなうことができる。また、この事業を実施することにより後継者の育成と祭礼参加者の増大を図ることができる。山車の存在を再認識することにより、地域のコミュニティの発展に寄与することができ更なる地域の活性化につながる。

⑲石津神社秋季例大祭用具整備事業（石津神社秋季例大祭保存伝承実行委員会）
石津神社秋季例大祭で、経年劣化により損傷している上石津山車を有識者の指導のもと、伝統的な仕様に則り修理することによって、秋季例大祭におけるだんじり曳行をより安全におこない、伝統文化の保存と継承をおこなうことができる。また、この事業を実施することにより地区の住民や子供達が、秋祭りの伝統や面白さを再認識し、地域の活性化に繋げることができ、後継者の育成と祭礼参加者の増大を図ることができる。

⑳高松・丈六地区秋の例大祭用具等整備事業（高松・丈六地区秋の例大祭保存継承実行委員会）
高松・丈六地区秋の例大祭で、経年劣化により損傷している高松山車を有識者の指導のもと、伝統的な仕様に則り修理することによって、秋の例大祭におけるだんじり曳行をより安全におこない、伝統文化の保存と継承をおこなうことができる。また、この事業を実施することにより山車の存在を再認識することにより祭礼参加者の増大を図ることができ、地域のコミュニティの発展に寄与することができ更なる地域の活性化につながる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成25年～34年の10年間を計画期間とした『堺市歴史的風致維持向上計画』の認定を平成25年11月22日に受け、本計画を有識者等による評価を行い計画の質を担保しつつ、着実に実施している。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	堺市文化観光局文化財部文化財課
-----------------	-----------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分1:	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	住民意識調査による「歴史資源や文化資源を身近に感じることができる」割合	関連事業: ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳				
目標値1:	【現状値】 平成 28 年度 42 (%) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 90 (%)					
設定根拠1:	アンケート意識調査により算出、堺市マスタープラン(市政基本的戦略プラン)の目標と合致					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
59 (%)	70 (%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
35%	58%					
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分2:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	地域の文化遺産関係展示等を実施する市立町家資料館の年間入館者数	関連事業: ①				
目標値2:	【現状値】 平成 27 年度 21,067 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 24,000 人					
設定根拠2:	毎年500人増を目標 平成28年度19,763人。入館者の現状維持が困難な状況である。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
18,292 人	15,936 人	人	人	人	人	
-95%	-175%					
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	祭礼行事等の保存会会員数及び技術伝承者数	関連事業: ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪				
目標値3:	【現状値】 平成 28 年度 390 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 545 人					
設定根拠3:	対象となる文化財(上神谷のこおどり、船待神社神楽子供獅子、美多彌神社流鏝馬、開口神社八朔祭、緞通技術、湊地域例大祭、百舌鳥八幡宮月見祭を追加)の各保存会会員数、毎年15人増を目標					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
409 人	157 人	人	人	人	人	
12%	-150%					

目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流						
評価指標区分 4 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標 4 :	各地域例大祭の集客数			関連事業:	⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳		
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 5,650 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 11,200 人						
設定根拠 4 :	対象となる事業に関連する地域例大祭の集客数合計毎年1,000人増を目標 (櫻井神社秋季例大祭、船待神社例大祭、美多彌神社流鏝馬行事、開口神社八朔祭、津久野地域例大祭、深井中町地域例大祭、美木多地域例大祭、湊地域例大祭。百舌鳥八幡宮月見祭、陶荒田神社禮大祭、石津神社秋季例大祭、萩原神社の秋の例大祭)						
進捗状況 4 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
7,900 人	5,623 人	人	人	人	人		
41%	0%						

事業④：	高松・丈六地区秋の例大祭映像記録作成事業	実施団体：	高松・丈六地区秋の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	萩原神社の秋の例大祭で使用する山車の保存修理経過のほか、伝統行事としての秋の例大祭での宮入りの様子、囃子の練習風景などの記録を作成し、公開することで伝統文化の継承、地域活性化に活かす。				
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	動画サイトの年間アクセス回数				
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 200 回				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
回	回	回	回	回	回
事業⑤：	国選択・大阪府指定無形文化財「上神谷のこおどり」後継者養成事業	実施団体：	（実施団体名を記載してください。）		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 23 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	国選択・大阪府指定無形民俗文化財「上神谷のこおどり」の保存伝承をより一層すすめるため、こおどりを伝承している鉢ヶ峯地区で、小中学生の堺こおどり保存会会員を対象にした保存伝承講習会及び指導者相互の技術向上をはかる養成研修（予算計上なし）をおこない、後継者の養成をはかると同時に、伝承者全体の意識向上をはかる。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	堺こおどり保存会会員数の変化（維持）				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 18 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
12 人	21 人	人	人	人	人
-86%	43%				
事業⑥：	船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業	実施団体：	船待神社神楽子供獅子保存会		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 23 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	船待神社の祭礼に奉納している「船待神社神楽子供獅子踊り」を継続するために演技及びお囃子の講習をおこない踊りの保存・継続を進めていく。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	船待神社神楽子供獅子保存会会員について会員数、特に踊り手の数				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 40 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
38 人	42 人	人	人	人	人
80%	120%				

事業⑦：	美多彌神社流鏝馬後継者養成事業				実施団体：	堺式手織緞通技術保存協会	
事業区分：	後継者養成				事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	流鏝馬の保存と伝承をより一層すすめる泉北地域での後継者養成のため、地域の伝統をふまえてつづ外部有識者の講師による流鏝馬の技術講習会・流鏝馬木馬を使用した講習や保存会会員を対象に地域の歴史文化について外部有識者の講師による地域歴史文化講習会を行い、後継者養成を図る。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	美多彌神社流鏝馬保存会会員について保存会の会員数の増加						
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
35 人	48 人	人	人	人	人		
17%	60%						
事業⑧：	大阪府指定無形民俗文化財「堺の手織緞通」後継者養成事業				実施団体：	(実施団体名を記載してください。)	
事業区分：	後継者養成				事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	現在、緞通技術の伝承者はすべて60歳以上であり、後継者の養成は急務である。このため、大阪府指定無形民俗文化財「堺の手織緞通」の保存伝承をより一層すすめるため、後継者養成を目的とした織成指導及び、後継者育成用の教材（緞通織成用糸）の購入をおこなう。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	堺式手織緞通技術保存協会会員について緞通の技術取得を希望する保存会入会者の数						
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
1 人	1 人	人	人	人	人		
20%	20%						
事業⑨：	開口神社八朔祭伝統文化後継者養成事業				実施団体：	開口神社八朔祭伝統文化保存継承実行委員会	
事業区分：	後継者養成				事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	堺旧市内に位置する開口神社で行われる八朔祭並びにふとん太鼓の歴史的価値を若年層の会員に講習会を開催、祭礼の関心や理解を高め後継者を育成するとともに新規参加者を増やす。さらに、各地区の世代を超えて連携し、伝統文化継承の意識を高める。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	開口神社八朔祭伝統文化保存継承実行委員会の若年層の会員数について						
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 人						
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
10 人	10 人	人	人	人	人		
17%	17%						

事業⑩：	湊地域伝統文化後継者養成事業					実施団体：	湊地域伝統文化保存伝承実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	文化伝承者により、湊地域の歴史・文化の検証の成果について、実行委員会会員の小・中学生を対象に、その保存伝承を目的とした講習会を開催する。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	湊地域伝統文化保存伝承実行委員会の会員数について 保存会会員若年層の会員数の増加										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 10 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
10 人	25 人	人	人	人	人						
0%	75%										
事業⑪：	百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化後継者養成事業					実施団体：	百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	本事業を通して300年の歴史がある百舌鳥八幡宮で行われる月見祭並びにふとん太鼓の歴史価値を次世代の後継者となる十代、二十代の青年に伝承するために講習会を実施し、祭礼の興味や関心を高めて後継者を育成するとともに新規参加者を増やす。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会の会員数について保存会会員若年層の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 40 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	40 人	人	人	人	人						
	0%										
事業⑫：	国選択・大阪府指定無形民俗文化財「上神谷のこおどり」用具等整備事業					実施団体：	堺こおどり保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	国選択・大阪府指定無形民俗文化財「上神谷のこおどり」の保存伝承をより一層すすめるため、長年の使用により傷みが激しいチャンボン鐘、日の丸扇の新調をおこなう。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	こおどりの奉納の行事に参加した住民数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 850 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 人										
進捗状況：											
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
860 人	— 人	人	人	人	人						
7%	#VALUE!										

事業⑬：	船待神社神楽子供獅子踊り用具等整備事業	実施団体：	(実施団体名を記載してください。)			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 23 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	船待神社の例大祭で奉納されている「船待神社神楽子供獅子踊り」を伝承していくために、数が不足しているお囃子用用具である篠笛（八本調子）を過去から継承されている仕様に則って、有識者の指導のもと新調し、充実をはかる。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	船待神社例大祭に参加した住民の数、ただし平成29年度は台風のため獅子踊りの奉納は中止					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 500 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 700 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
— 人	500 人	人	人	人	人	
#VALUE!	0%					
事業⑭：	美多彌神社流鏝馬用具等整備事業	実施団体：	美多彌神社流鏝馬保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 25 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	流鏝馬の後継者育成及び行事の催行のために欠かせない流鏝馬衣装（立烏帽子）の新調をおこなう。これらは、有識者の指導のもと伝統的な仕様に則り新調をおこない、伝統文化の継承をより一層すすめる。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	美多彌神社流鏝馬行事への参加住民数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 1,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,000 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
3,500 人	93 人	人	人	人	人	
125%	-45%					
事業⑮：	開口神社八朔祭保存伝承用具等整備事業	実施団体：	(実施団体名を記載してください。)			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	八朔祭で使用する用具で経年劣化で傷みが顕著な宮太鼓一尺二寸を修理するとともに、太鼓台最上部に取り付ける結びであるトンボ（結び）や担ぎ棒、ふとん骨組み、ふとん生地等を新調する。これらの修復・新調にあたっては外部有識者の指導のもと実施する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	開口神社八朔祭への参加住民数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 2,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 4,000 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2,200 人	2,400 人	人	人	人	人	
10%	20%					

事業⑯：	湊地域伝統文化用具等整備事業					実施団体：	湊地域伝統文化保存伝承実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	湊地域船待神社の秋季例大祭でのふとん太鼓運行に関わる用具のうち、経年劣化により損傷が激しい用具は、安全運行への影響や祭礼の継承に支障となるため、外部有識者の指導のもと、過去から受け継がれてきた仕様を踏まえた修理、新調を行い、伝統文化の保存と継承を図る										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	湊地域船待神社秋季例大祭「ふとん太鼓運行」に参加した住民の数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 350 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 700 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
350 人	400 人	人	人	人	人						
0%	14%										
事業⑰：	百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化用具等整備事業					実施団体：	百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	百舌鳥八幡宮月見祭の保存伝承をより一層すすめるため、重要な用具が長年の使用により経年劣化で著しく損傷しており、これらの修理、新調にあたっては、外部有識者の指導の元、過去から受け継がれてきた仕様を踏まえて実施する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	百舌鳥八幡宮月見祭に参加した住民数										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 10,000 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 11,000 (単位)										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
(単位)	10,000 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						
	0%										
事業⑱：	陶器地域陶荒田神社禮大祭文化遺産用具整備事業					実施団体：	陶荒田神社文化財推進実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	陶荒田神社禮大祭で10台の山車が宮入しているうち西中地区地車は経年劣化で損傷が著しく安全な曳行に支障をきたすため外部有識者の指導のもと過去からの受け継がれてきた仕様を踏まえ修理を行い伝統文化の保存と継承を図る。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	陶荒田神社禮大祭「山車行事」にかかわった住民の数										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 800 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	800 人	人	人	人	人						
	0%										